

生産性向上支援訓練 実施事例

(株) タケマエ(山形県米沢市)さま



1. 会社概要

◆事業内容：オイルシール用金具の製造

◆利用コース

- ①② 品質管理基本
- ③ 生産現場の問題解決

◆実施時期

- ①②平成30年 6月～ 7月
- ③ 平成30年10月～11月

2. 課題及び訓練を利用した感想

弊社は、1981年6月に米沢市松ヶ岬にて、プレス金型の製作と削り出し品の加工を始めました。(NOK(株)福島事業場より受注生産。)

その後、現在地に工場移転。1986年12月に株式会社に組織変更し、現在自動車の自動変速機用部品を主に、月産250万個の生産を行っています。

弊社では、3年間の事業計画を作成する上で、本訓練を「人材育成のための訓練」として組入りたいと思い、ポリテクセンター山形様から詳細な話を伺いました。

対象者は中途採用社員で15名程度、カリキュラム内容は「生産管理」「品質管理」の基礎的なものと考え、また、日程は数班に分けて行いたいということで、相談をさせていただきました。

この訓練の最大のメリットが「当社内で講習が受講できる」ということでしたので、初級コースの「品質管理基本」のカリキュラムを7人と8人の班に分けて受講させていただきました。

受講者全員が品質に関する意識付けが高まり、日々の生産活動の中に品質用語で会話できるようになりました。

これを機にステージをアップしたカリキュラムを選び単年度で終わらず継続受講を計画していくつもりです。

(その後、10月～11月に「生産現場の問題解決」を受講させていただきました。)



代表取締役 竹前 秀夫さま

受講者の声

Q：受講した感想はいかがでしたか。

私が所属している製造2課では新ラインが立ち上がりまだ間もなく、私をはじめ現在従事しているメンバーと試行錯誤しながら日々の生産業務に努めている最中でした。

そんな中、今回の訓練を受講して、QC 7つ道具を現場で活用する手法をメンバー全員で学び、共通認識することで、問題点の抽出から改善実行までを効率的且つ効果的に改善が行えるのでは感じました。

Q：訓練で習得したことをどのように業務に活用していますか

現在は生産性向上、品質向上のためにメンバーで問題を抽出し改善活動を実行しているところですが、スムーズに進めることが出来ており、今後は更なる改善活動に活用していきたいです。



千葉 孝志さま（入社3年目）